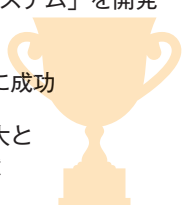


受賞のポイント

- POINT 1 移動エネルギーを精緻に予測する「計画発電蓄電制御システム」を開発
- POINT 2 従来では難しかったEVトラックの開発に成功
- POINT 3 商用電動車の普及拡大とCO₂排出削減に貢献



開発した PRE-EV のトラック



写真左から、松浦 寿雄氏、佐藤 啓氏

会社概要

商 号：株式会社サニックス
設 立：1970 年 7 月
従業員数：82 名
事業内容：前身であるニッシン自動車と三栄自動車工業株式会社と経営統合。整備や塗装といった自動車関連業務のワンストップサービスを展開。

お問い合わせ先

株式会社サニックス

〒 990-2211
山形県山形市十文字 812
T E L : 023-687-3111
F A X : 023-687-3112
E-mail : info@sanics.co.jp
U R L : https://www.sanics.co.jp/

とで社員たちの意識も整備業から脱却。「創造業」へと意識が変化していったといいます。そんな事業拡大のさなか転機が訪れます。それが商用電動車、中でもEVトラックの開発でした。EV乗用車に比べEVトラックの開発は遅れていました。農工業が盛んで物流も盛んな山形。環境負荷に配慮したEV車をつくることができれば、EVトラックの先駆け企業となるだけではなく、山形の農産物を全国に運ぶことができる。さらに、近年人手不足が深刻さを増す自動車整備士業界へ一石を投じる

山形大学をはじめ賛同者が集結

チャンスでもあると同社は考えたのです。2018年から既に電池研究をしていた山形大学と共にチームを組み本格的な開発に着手。2019年には環境省から「CO₂排出削減対策誘導型技術開発・実証事業」として採択され、国からの開発資金の支援も獲得。時を同じくして同社の取り組みに共感した賛同者たちが次々に参画。EV化の課題を解決するシステムとそのシステムを搭載

試作EVトラック完成！実証実験へ

2021年、新技術「計画発電蓄電制御システム」を備えた発電機と電池の小型化を実現した商用車が完成。現在、実証実験が行われています。このシステムにより仕様を上回るCO₂排出量の削減と燃費／電費の省

エネ効果を上げています。積み上げた実証データは、事業化に向けた大きな弾みとなると思います。

新規事業の成功のポイントは「常に未来志向で前進し続けたことにある」と同社代表取締役の佐藤啓氏。今後EVトラックの運用はもちろんのこと、「ものづくり」の手を止めず新技術の開発に取り組みたいといいます。EVトラックの開発で培った技術やノウハウを今後は必要としている企業へと販路を開拓しながらデジタル技術での地方創生へつなげていきます。

EV車の最新技術をパートナーと共に開発

山形から物流の未来を切り拓く

EVトラック開発で低炭素物流最先端へ

受賞理由

- 道路標高データを活用し、目的地までの移動エネルギーを精緻に予測
- 従来の技術では難しかった大型商用車のEV化に成功

事業拡大が招いたEVトラック開発

ニッシン自動車と三栄自動車工業株式会社の経営統合で2010年に誕生したサニックス。もともと自動車整備工場を主な業務にしていた。しかし事業承継を機に転換をはかり、

株式会社サニックスとは？

1970年、前身であるニッシン自動車を設立。2010年、三栄自動車工業株式会社と経営統合を行い株式会社サニックスに社名変更。現在まで整備や塗装といった自動車関連業務のワンストップサービスを展開。EVトラックの開発を手がけるなど事業規模を拡大し続けている。



株式会社サニックス本社

受賞者

株式会社サニックス

計画発電蓄電制御システムを活用した電動商用車でカーボンニュートラル実現への貢献

担当者

佐藤 啓氏
松浦 寿雄氏

